

# 第4章 目標達成に向けた施策

ここからは、基本施策ごとに、「基本的考え方」「市民の役割」「事業者・行政区等・関係団体の役割」「市の役割」を明記したうえで、具体的な施策を示します。

また、取組を確実に実行するよう「目標値（中間の平成27年度）」と「担当課」を明記します。

## 1 市民の健康管理を支援します

### [基本的な考え方]

健康診査（この章において「健診」と言います。）の結果から、保健指導を必要とする人に、自らの生活習慣における課題を認識してもらったうえで、日常生活の改善や自己管理を行うための支援を行います。

また、市民が地域で安心して暮らせるように、かかりつけ医を持つことを推進します。

### [市民の役割]

定期的に健診を受けます。健診の結果、日常生活の改善が必要とされた場合は、保健指導を受け、生活習慣を改善します。

また、治療が必要と判断された場合は、早期治療に努めます。治療開始後は、定期的にかかりつけ医を受診し、治療を継続することにより、重症化や合併症予防に努めます。

### [事業者・行政区等・関係団体の役割]

（社）糸島医師会、（社）糸島歯科医師会 は、市の健診事業に協力し、事業を実施します。健康づくりに関する事業者や関係団体は、市民が生活習慣改善に取り組む場と、健康づくりに関する情報の提供に努めます。

行政区等は、市の健診事業や保健指導の推進に協力します。

### [市の役割]

対象年齢などに応じ、市民が健診（検診）や予防接種を受ける場を提供し、費用の助成を行います。また、健診結果や市民の要望に応じ、生活習慣や予防に関わる保健指導を行い、必要に応じ、早期の病院受診を勧めます。

[市の取組]

取組	健康情報の発信
目標値	市のホームページ更新頻度 平成 22 年度随時 平成 27 年度月 1 回以上
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康、子育て、介護などの情報を盛り込んだ健康情報誌を発行します。</li> <li>● 広報いとしまに定期的に健康情報を掲載します。</li> <li>● 市のホームページを活用（画像、動画など）し、健康に関する情報を発信します。</li> <li>● あらゆる機会をとらえ、健康づくりの必要性や健康に関する事業・ボランティアなど、その人に合った情報を提供します。</li> <li>● さらに効果的で分かりやすい情報発信について、検討・実施します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、介護保険課、国保年金課、子ども課

取組	妊婦健診の実施
目標値	妊婦健診受診券交付率 平成 22 年度 100% 平成 27 年度 100%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 母子保健法に基づく妊婦健診への費用助成を行います。</li> <li>● 妊婦健診の受診状況を把握し、必要性に応じ、保健指導につなげます。</li> </ul>
担当課	健康づくり課

取組	乳幼児健診の実施
目標値	乳幼児健診受診率（疾患等により病院受診中の児を除き算定） 4 か月児健診 平成 22 年度 99.0% 平成 27 年度 100% 10 か月児健診 平成 22 年度 98.4% 平成 27 年度 100% 1 歳 6 か月児健診 平成 22 年度 94.8% 平成 27 年度 100% 3 歳児健診 平成 22 年度 97.8% 平成 27 年度 100%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4 か月児、10 か月児、1 歳 6 か月児、3 歳児を対象とした健診を集団健診で実施します。</li> <li>● 医師、歯科医師、歯科衛生士、臨床心理士、保育士、保健師、看護師、管理栄養士などの専門職が携わり、それぞれの年代の成長発達段階に応じた健診を行うとともに、児や保護者に健康維持増進のための情報を提供します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課

取組	生活習慣病予防のための健診の実施
目標値	<p>特定健診受診率 平成 21 年度 22.2% 平成 27 年度 65%</p> <p>がん検診受診率 (胃がん) 平成 22 年度 13.0% 平成 27 年度 50% (大腸がん) 平成 22 年度 15.3% 平成 27 年度 50% (肺がん) 平成 22 年度 15.4% 平成 27 年度 50% (子宮がん) 平成 22 年度 21.5% 平成 27 年度 50% (乳がん) 平成 22 年度 18.5% 平成 27 年度 50%</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内の公の施設を巡回し、対象年齢に応じた健診（検診）を集団健診として実施します。</li> <li>● 集団健診は、受診者の希望に応じ、特定健診や各種がん検診、肝炎ウイルス検査などが半日で受診できる総合健診方式で実施します。</li> <li>● 特定健診と歯周病健診については、（社）糸島医師会、（社）糸島歯科医師会の協力を得て、かかりつけ医で受診することができる個別健診を行います。</li> <li>● 健診（検診）費用については、一部助成を行います。</li> <li>● 健診結果等の分析を行い、新たな健診項目の検討を行います。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、国保年金課

取組	健康情報を自己管理するための支援
目標値	<p>健康手帳 新規交付数 平成 22 年度 1,362 冊 平成 27 年度 2,500 冊</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 妊娠した女性に母子健康手帳を交付し、その後の健康管理に関する啓発を行います。</li> <li>● 健診受診者などに健康手帳を交付し、その後の健康管理に関する啓発を行います。</li> <li>● 生活習慣改善が必要な対象者に対し、健康ファイルを渡し、健康状態を記録、自己管理する習慣につなげます。</li> </ul>
担当課	健康づくり課

取組	健診結果に応じた保健指導の実施
目標値	のびのび相談（育児相談）件数 平成 22 年度 588 件 平成 27 年度 600 件 特定保健指導実施率 平成 21 年度 44% 27 年度 45%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳幼児健診の結果に応じ、子どもの成長や発達に関する保健指導を行います。</li> <li>● 特定健診などの結果に応じ、健診結果の説明や日常生活改善ポイントに関する助言、病院などへの受診勧奨などの指導を行います。</li> <li>● 保健指導を行った後の改善状況は、次回の健診や相談などの機会を確認します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課

取組	感染症予防事業の実施
目標値	麻疹風疹予防接種率 平成 22 年度 92.6% 平成 27 年度 95%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>予防接種法</u> などに基づく予防接種への費用助成を行います。</li> <li>● 特定の感染症が流行しているときには、その情報を早く広く周知します。</li> <li>● 感染症の予防法や予防接種について、分かりやすい情報を提供します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課



## 2 市民参加型の健康づくり事業を推進します

### [基本的な考え方]

生活習慣病の発症や進行には、食べ過ぎによるエネルギーの過剰摂取や栄養バランスの偏り、運動不足などが大きく関わっています。核家族化や意識の多様化、産業の変化など、さまざまな社会的要因もあることから、市民の生活状況に合わせた生活習慣改善に向けた支援を行います。

### [市民の役割]

適度な運動を継続して行い、毎回の食事では、野菜の摂取に心がけ、砂糖入りのコーヒーやジュースなどの甘味飲料や甘いものなどを取りすぎないようにします。また、市や行政区等が実施する健康づくり事業に参加、協力します。過度なストレスには気をつけ、上手に解消するよう努めます。

### [事業者・行政区等・関係団体の役割]

糸島市老人クラブ連合会 や 糸島市食生活改善推進会 などの関係団体、事業者は、会員等の健康維持増進を目標とし、健康づくりにつながる取組を主体的に企画・実施するよう努めます。

行政区等は、市の健康づくり事業の推進に協力します。事業者、関係団体は、市の健康づくり事業の実施に協力するよう努めます。

### [市の役割]

市は、市民が継続的に運動、食生活改善などの取組を行うための環境整備に努め、関係団体や事業者と連携し、校区や行政区などの地域コミュニティを生かした健康づくり事業を実施します。

また、健康づくりの普及啓発を行うとともに、健康に関するボランティアの養成を行い、運動・身体活動の促進、食生活改善などを図ります。

[市の取組]

取組	健康に関する学習機会の提供
目標値	<p><u>いとしま健康大学</u> 受講者数 平成 22 年度 178 人 平成 27 年度 250 人</p> <p>老人クラブなど行政区で実施する健康教室の参加者数 平成 22 年度 3,127 人 平成 27 年度 3,500 人</p> <p>校区公民館講座の健康づくり講座参加者数 平成 22 年度 1,896 人 平成 27 年度 2,200 人</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康福祉センター「あごら」などの健康づくり拠点施設を活用し、生活習慣病予防を中心としたいとしま健康大学を実施します。</li> <li>● 校区公民館と連携し、校区公民館事業の中で健康づくり講座を開催します。</li> <li>● 老人クラブなど関係団体の要望に応じ、行政区公民館などを活用した健康教室を実施します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、生涯学習課

取組	健康づくりボランティアの養成
目標値	<p>糸島市食生活改善推進員数 平成 22 年度 282 人 平成 27 年度 350 人</p> <p><u>はつらつマイスターズ</u> 会員数 平成 22 年度 23 人 平成 27 年度 40 人</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いとしま健康大学の中で、<u>食生活改善推進員</u> やはつらつマイスターズなど、地域で健康づくりの担い手となるボランティアを養成します。</li> <li>● <u>糸島市 NPO・ボランティアセンター</u> や校区公民館などと連携し、ボランティアの養成を行い、地域でのボランティア活動の場づくりを支援します。</li> </ul>
担当課	地域振興課、健康づくり課、生涯学習課



取組	健康づくりのための運動の推進
目標値	運動習慣のある人の割合（健康づくりアンケート結果） 平成 22 年度 34% 平成 27 年度 40%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅広い世代が気軽に取り組めるウォーキングを推進します。</li> <li>● 健康福祉センター「あごら」トレーニング室を利用した運動教室を実施します。</li> <li>● 健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」のプールを利用した水中運動教室を実施します。</li> <li>● 介護予防センター「はつらつ館」、健康福祉センター「ふれあい」、健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」で、腰痛、膝関節痛などの課題がある人を対象とした運動教室を実施します。</li> <li>● 転倒予防を目的として作成した転ばん体操の普及を図るとともに、指導者を養成します。</li> <li>● 校区公民館で健康づくりのための運動を行う自主活動グループの活動を支援します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、生涯学習課

取組	心の健康を保つ取組の推進
目標値	ストレス処理ができていない人の割合（健康づくりアンケート結果） 平成 22 年度 80.5% 平成 27 年度 83%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストレスをためこまない生活の工夫に関する啓発を行います。</li> <li>● 不眠や食欲不振、意欲の低下などストレス状態に、自分自身や家族が気づくことができる資料の提供を行います。</li> <li>● 心の健康に関する相談機関について PR し、活用を推進します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、障害福祉課、子ども課

取組	高齢者の健康課題に応じた取組の推進
目標値	脳血管疾患の既往がある人への保健指導実施件数 平成 22 年度 21 件 平成 27 年度 120 件
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が集まる機会を活用し、脳血管疾患の危険性が高い高齢者を把握するよう努めます。</li> <li>● 要介護状態に陥る危険性が高い高齢者には、脳血管疾患の再発や転倒予防など、危険性を低くするための指導を行います。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、介護保険課

取組	九州大学との連携事業の実施
目標値	九州大学との連携事業実施数 平成 22 年度 2 事業 平成 27 年度 4 事業
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の企画立案や事業評価に関わる研究など、九州大学の知的資源を生かした取組を進めます。</li> <li>● 公開講座などを通じ、市民が活用できる機会を提供します。</li> </ul>
担当課	学研都市推進課、健康づくり課



いとしま健康大学受講風景





### 3 食を通した健康づくりを推進します

#### [基本的な考え方]

近年、ライフスタイルの変化や意識の多様化、外食産業の発展により、食生活は大きく変化してきました。そのため、子どもの頃から食に関する教育を行い、生涯にわたり生活習慣病の予防対策を念頭においた取組を行います。

さまざまな市の事業等を通じ、子どもが正しい知識や習慣を身につけることを支援します。

#### [市民の役割]

健診結果などにじゅうぶん目を通し、食生活の課題について早期に気づき、改善します。保護者は、子どもの健康状態を把握し、必要に応じ、乳幼児健診での食生活相談等を活用します。自分自身の食生活改善については、健康教室や健康相談などを活用します。

#### [事業者・行政区等・関係団体の役割]

食生活改善推進会など食生活改善を目的として活動する団体は、知識や技術の向上に努め、他団体と連携し、地域に食生活改善の取組を普及するよう努めます。また、市の事業や地域活動に協力するとともに、自らの活動も周知します。

第1次産業に関わる団体は、新鮮な農林水産物の安定的な供給とその情報発信に努めます。

食品関係事業者は、地産地消に協力するとともに、市民の健康づくりに適した食材や飲食の提供に努めます。

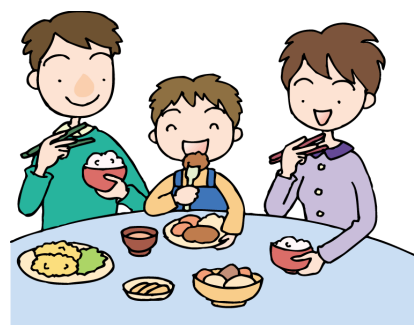
#### [市の役割]

地域で健康づくりのための食生活改善の取組を行うことを支援します。野菜や魚介類の摂取、熱量（カロリー）を考えた食事などについて、農林水産業、商工観光業と連携した事業を推進するほか、校区公民館、保育所、子育て支援センターなど関係機関が連携し、事業を実施します。

[市の取組]

取組	健康課題に応じた食の支援事業の実施
目標値	<p>プレママ教室 ・子育て教室開催数 平成 21 年度 14 回 平成 27 年度 36 回</p> <p>乳幼児栄養指導（母子健康手帳交付時含む）回数 平成 21 年度 134 回 平成 27 年度 180 回</p> <p>個別栄養相談回数 平成 21 年度 79 回 平成 27 年度 100 回</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳幼児期の健康維持やアレルギー対応などに関する食生活の課題に合わせた指導を行います。</li> <li>● 生活習慣病予防に関する個別栄養相談や食生活改善に関する健康教室を行います。</li> <li>● 一人暮らし高齢者などを対象とした食の支援を行い、栄養状態の悪化を防ぎます。</li> <li>● 栄養成分やカロリーの表示の見方など、加工品や外食を選択するときに役立つ情報を提供します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、介護保険課、子ども課

取組	食育推進事業の実施
目標値	<p>地場産物を利用した料理教室事業数 平成 21 年度 41 事業 平成 27 年度 45 事業</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係課と連携し、<u>食のまちづくり推進計画</u>（平成 23 年度策定予定）や<u>農力を育む基本計画</u>の食育基本計画などに基づき、食育推進事業を行います。</li> <li>● 農業体験や料理教室などによる生産者との交流を通して、子どもから高齢者まで幅広い世代に食育の取組を広めます。</li> </ul>
担当課	経営企画課、地域振興課、生活環境課、健康づくり課、子ども課、農業振興課、水産振興課、商工観光課、学研都市推進課、学校教育課、生涯学習課



取組	毎食野菜を食べる人を増やす取組
目標値	毎食野菜を食べる人の割合（健康づくりアンケート結果） 平成 22 年度 58.6% 平成 27 年度 80%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地産地消の取組と連携し、単身世帯や夫婦二世帯でも実践できる旬の野菜を使った簡単料理やカット野菜の活用方法などを普及させます。</li> <li>● 野菜を食べることによってもたらされる効果や、1日に必要な量を分かりやすく記載した情報を提供します。</li> <li>● 生産者から発信する旬の野菜に関する情報を提供します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、農業振興課

取組	砂糖入りのコーヒーやジュースなど甘味飲料の摂取を減らす取組
目標値	1日1回以上甘味飲料を摂取する人の割合（健康づくりアンケート結果） 平成 22 年度 34.5% 平成 27 年度 30% 就学時健診での未処置歯保有者の割合 平成 22 年度 21.2% 平成 27 年度 12.5%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健診会場などで、甘味飲料に含まれる砂糖の量やカロリーを表示することで、注意を促します。</li> <li>● 世代に応じた甘味飲料の過剰摂取による身体への影響に関する分かりやすい指導や情報提供を行います。</li> <li>● 子どもから高齢者までの幅広い世代に、お茶（水筒）持参運動を進めます。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、子ども課

取組	安全安心な食を推進する取組
目標値	<u>エコファーマー 認定農家数</u> 平成 22 年度 305 戸 平成 27 年度 330 戸 福岡県減農薬・減化学肥料栽培認証制度要綱により、福岡県農業振興推進機構が認定した農家数 平成 22 年度 27 戸 平成 27 年度 40 戸 市内直売所出荷者を対象とした <u>ポジティブリスト</u> 等の生産技術講習会の年間開催回数 平成 22 年度 2 回 平成 27 年度 3 回
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元の農林水産物、その加工品などを販売している店舗の情報などを提供します。</li> <li>● 生産者がどのように安全性を守っているのかなど、食の安全安心を守る取組に関する情報を提供します。</li> <li>● 調理実習を行う健康教室では、食中毒予防など食の安全を守る知識や技術の普及に努めます。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、農業振興課、水産振興課

## 4 健康・生きがい・仲間づくりを支援します

### [基本的な考え方]

生活習慣を改善し、継続するためには、家族や友人とのコミュニケーションがたいせつです。身体的、精神的、社会的に良好な状態を維持するため、家族や友人、学校、職場、地域社会など、個人を支える周囲の理解や社会環境を整える取組を進めます。

### [市民の役割]

一緒に生活習慣改善の取組を実践する家族や仲間をつくり、健康づくりに関するイベント等に参加します。そのほか、健康に関するボランティアとして、市や関係団体に協力するよう努めます。

### [事業者・行政区等・関係団体の役割]

健康づくりを広めることを目的に組織した団体などは、会員間で交流を図り、継続的に活動に参加しやすい仲間づくりや会員数の拡大に努めます。

また、団体間の交流を図りながら、共同事業の実施に努めます。市が実施する事業には、連携・協力します。

### [市の役割]

健康に関わるボランティア団体の支援を行うほか、いとしま健康大学などの卒業生の会などを育成・支援し、健康づくりの取組を広げます。また、関係団体等と連携し、健康づくりに関するイベントなどを実施します。

生涯にわたる健康、生きがい対策として、生涯学習や生涯スポーツの取組を普及・啓発します。



はつらつマイスターズ活動の様子

[市の取組]

取組	健康づくり自主活動グループの支援
目標値	自主活動グループ会員数 平成 22 年度 225 人 平成 27 年度 320 人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康福祉センター「あごら」を拠点に活動しているいとしま健康大学卒業生で組織する「スマイル・クラブ」「男性の料理 OB 会」の活動を支援（一定期間）します。</li> <li>● 健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」を拠点に活動しているいとしま健康大学卒業生で組織する「水中運動教室 OB 会」の活動を支援（一定期間）します。</li> <li>● いとしま健康大学卒業式では、自主活動グループやボランティア団体の紹介を行い、卒業後の継続的な取組につなげます。</li> <li>● 地域で活動中の健康づくり団体の把握に努め、連携を図ります。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、生涯学習課

取組	ボランティア活動の推進と団体の支援
目標値	子育てネットワーク交流会開催数 平成 22 年度 4 回 平成 27 年度 4 回 健康づくりに関するボランティア活動実施回数 平成 22 年度 57 回 平成 27 年度 80 回
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸島市食生活改善推進会の活動を支援します。</li> <li>● 「はつらつマイスターズ」「ひまわり」「はるか」やふれあい生きいきサロン 活動など、介護予防ボランティアの会の活動を支援します。</li> <li>● 育児から高齢者支援まで幅広いボランティア活動の成果などを公表し、会員拡大の支援に努めます。</li> <li>● (社)糸島市社会福祉協議会 や関係団体等と連携し、ボランティア活動の場や研修の機会を提供します。</li> </ul>
担当課	地域振興課、健康づくり課、介護保険課、子ども課

取組	生涯学習の普及
目標値	健康づくりに関する出前講座 の受講者数 平成 22 年度 888 人 平成 27 年度 900 人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習の拠点となる校区公民館や図書館、博物館などで、生きがい、仲間づくりにつながる事業を行います。</li> <li>● 年 1 回生涯学習情報誌を発行し、生涯学習に関する情報を周知します。</li> <li>● 出前講座を行い、さまざまな団体が主体的に取り組む学習を支援します。</li> </ul>
担当課	生涯学習課

取組	生涯スポーツの普及
目標値	運動習慣のある人の割合（健康づくりアンケート結果） 平成 22 年度 34% 平成 27 年度 40%
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動を始めるきっかけづくりと継続するための支援を検討・実施します。</li> <li>● 糸島市体育指導委員会 や関係団体等と連携し、子どもから高齢者まで幅広い年代の人がスポーツに取り組む活動を支援します。</li> <li>● 多世代で楽しむスポーツを普及するニュースポーツ普及ボランティアなどの人材を育成するとともに、その活動を支援します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、生涯学習課

取組	地域活動への参加の推進
目標値	<p><u>いとしま共創プラン</u> に基づく事業実施校区数 平成 22 年度 3 校区 平成 27 年度 15 校区</p> <p><u>子育て支援関係団体</u> 組織数 平成 21 年度 43 団体 平成 27 年度 50 団体</p> <p>0 歳児の子育て支援センター利用率 平成 21 年度 68% 平成 27 年度 90%</p> <p>60 歳代で趣味等を一緒に楽しむ仲間がいない人の割合（健康づくりアンケート結果） 平成 22 年度 22.6% 平成 27 年度 20%</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て世代から高齢者まで多くの人を地域活動や仲間づくりにつなげる居場所づくりやイベント事業の支援、情報提供を行います。</li> <li>● 地域で声を掛け合うことができるまちづくりを目指して、いとしま共創プランに基づく各校区の事業を支援します。</li> <li>● 高齢者の社会的孤立を防ぐため、介護予防センター「はつらつ館」をさらに活用するとともに、ふれあい生きいきサロン活動事業を推進します。</li> <li>● 主体的に健康づくりに取り組み、地域活動に貢献している高齢者の表彰などを行い、健康、生きがいづくりにつなげます。</li> <li>● 子育て世代の孤立感を軽減するため、市内 3 か所の子育て支援センターを核として子育て支援事業を展開するとともに、地域の子育てサークルなどの支援や情報を提供します。</li> </ul>
担当課	地域振興課、健康づくり課、子ども課

## 5 健康づくりの拠点施設を有効活用します

### [基本的な考え方]

健康福祉センター「あごら」・「ふれあい」、健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」、介護予防センター「はつらつ館」など、市内の拠点施設については、その施設の特性を生かした事業に利用します。

また、拠点施設の活用を市民や団体に呼びかけるとともに、校区公民館や行政区公民館などの既存施設を利用した取組を推進します。

### [市民の役割]

拠点施設や身近な施設などを有効活用し、運動の実践や食生活改善など、健康づくりと仲間づくりに努めます。

### [事業者・行政区等・関係団体の役割]

健康づくりを目的とした団体は、必要性に応じ、健康づくりの拠点施設や校区公民館、行政区公民館などの既存施設を活用します。また、各団体がお互いの活動や事業を尊重し、調整しながら施設を利用するよう努めます。

### [市の役割]

市内の拠点施設では、適正な維持管理を行いながら、個性ある健康づくり事業、介護予防事業を実施します。また、掲示板などを活用し、他の施設での取組や市民ボランティアの活動内容を周知し、利用が増えるよう努めます。

介護予防事業については、(社)糸島市社会福祉協議会や老人クラブなど関係団体と連携し、校区公民館や行政区公民館を活用した事業を実施します。



健康ふれあい施設二丈温泉「きららの湯」アクアイト

[市の取組]

取組	拠点施設の利用促進、事業・サービスの充実
目標値	健康福祉センター「あごら」トレーニング室利用者数 平成 22 年度 6,955 人 平成 27 年度 8,000 人 健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」プール利用者数 平成 22 年度 6,839 人 平成 27 年度 8,000 人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民のだれもが利用しやすいように、拠点施設の管理運営に努め、利用の促進を図ります。</li> <li>● 拠点施設では、プールやトレーニング機材を利用するなど、その施設の特性に応じた事業を行い、教室等の終了後には、卒業生の定期的な施設利用による運動継続につなげます。</li> <li>● 健康福祉センター「あごら」トレーニング室には、運動指導員を配置し、市の事業参加者以外の利用者も、安全にトレーニングできるよう支援します。</li> <li>● 介護予防センター「はつらつ館」では、定時に<sup>まろ</sup>ばん体操のビデオ上映やラジオ体操の放送を行い、利用者の運動継続を支援します。</li> <li>● 拠点施設には、血圧計など利用者の健康づくりに役立つ機材を設置します。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、介護保険課

取組	拠点施設への利用助成事業の実施
目標値	健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」シニアカード会員数 平成 22 年度 3,230 人 平成 27 年度 5,000 人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」では、高齢者の健康づくりを推進するため、利用料助成を行います。</li> <li>● 健康福祉センター「あごら」トレーニング室では、回数券利用者に利用料助成を行います。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、介護保険課

取組	校区・行政区公民館など身近な施設を活用した事業の実施
目標値	行政区で実施する健康教室の参加者数 平成 22 年度 3,127 人 平成 27 年度 3,500 人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拠点施設の利用が難しい高齢者などを対象にした事業は、公民館などの施設を有効活用し、実施します。</li> <li>● 行政区公民館など身近な施設を積極的に利用できる環境づくりを実施します。</li> </ul>
担当課	地域振興課、健康づくり課



## 6 救急医療を充実させます

### [基本的な考え方]

休日・夜間急患センターと在宅当番医による救急医療体制を整備していますが、市民の安心した暮らしのため、その充実を図るための検討を行います。

また、多くの市民が、緊急度の高い疾病（脳血管疾患、心疾患など）や事故（誤嚥による窒息、溺水、蜂刺傷など）等の予防、早期発見、適切な対応ができる取組を進めます。

### [市民の役割]

心肺停止時における救命の連鎖における役割や子どもの事故、急性心筋梗塞、脳血管疾患など緊急時の初期対応について自ら習得するよう努めると同時に、平時より救急体制について理解を深めます。また、市や関係団体等が実施する研修会などに積極的に参加します。

### [事業者・行政区等・関係団体の役割]

（社）糸島医師会は、医師の確保に努めながら、休日・夜間急患センターの運営に協力します。また、（社）糸島歯科医師会は、歯科休日診療について自主的な運営を基本としながら、今後の在り方を検討します。

乳幼児を持つ保護者や高齢者が多く集まる団体では、普通救命講習を企画するなど、救急時の初期対応について学習する機会をつくることに努めます。

行政区等は、災害時の共助のための体制づくりに努めるとともに、市の救急医療の充実に協力します。

### [市の役割]

福岡県や（社）糸島医師会、（社）糸島歯科医師会などの関係団体と、救急医療の在り方を検討します。救急時の対応については、消防本部で実施する事業や健康づくり事業などを通じ、広く市民や事業者などに啓発します。

[市の取組]

取組	休日・夜間急患センターの運営強化
目標値	一次救急 対応 平成 22 年度 365 日 平成 27 年度 365 日
活動内容	● 急患センター（内科、外科、小児科）の運営について、毎月、科・時間帯・地域ごとの患者数や状況などを把握・分析し、課題を整理したうえで、運営が強化できるよう検討・改善します。
担当課	健康づくり課、消防本部

取組	歯科休日診療の充実
目標値	（社）糸島歯科医師会との検討会議の年間実施回数 平成 22 年度 0 回 平成 27 年度 4 回
活動内容	● 歯科休日診療の充実を図るため、口腔保健センターの利用状況や他医療圏域の状況を参考にしながら、今後の在り方について（社）糸島歯科医師会などと検討します。
担当課	健康づくり課

取組	新型インフルエンザ対策行動計画の適正運用
目標値	新型インフルエンザなどの感染症対応施設数 平成 22 年度 0 施設 平成 27 年度 1 施設
活動内容	● 市民生活の安全・安心を確保するため、新型インフルエンザ対策行動計画に基づき、各段階に応じて関係機関と連携し、対応します。 ● 必要な感染症対応施設の設備、機器の充実を図ります。
担当課	健康づくり課、（全課）

取組	救急医療の適正な利用方法の徹底
目標値	救急に関する啓発情報発信回数 平成 22 年度未実施 平成 27 年度 2 回
活動内容	● 急患センターや救急車などの利用は、あくまで救急時であるため、救急医療の必要性や利用状況を紹介し、センター等の適正な利用について周知徹底します。
担当課	健康づくり課、消防本部

取組	救急講習の実施
目標値	子どもと救急法受講者数 平成 22 年度 46 人 平成 27 年度 50 人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防本部と連携し、乳幼児の保護者を対象とした教室「子どもと救急法」を開催し、救急講習を受ける機会を提供します。</li> <li>● 高齢者を中心とした団体などに、消防本部の出前講座「救命講習」の利用を進めます。</li> </ul>
担当課	健康づくり課、消防本部



# 第5章 推進体制と評価

## 1 計画の推進体制

健康寿命を延ばすためには、市民一人ひとりが健康づくりの意識を高め、取組を実践し、継続することが最もたいせつです。そのため、関係団体をはじめ多くの団体・事業者などが連携を図りながら、市民の健康づくりを進めることが重要になります。

### (1) 計画の推進のための組織

市では、組織の横断的な連携・協力はもちろんのこと、市民代表、健康づくり関係団体代表、学識経験者などで構成する「健康いとしま21推進委員会」を活用し、効果的かつ効率的に計画を実施します。

### (2) 関係団体等との連携

(社)糸島市社会福祉協議会、糸島市老人クラブ連合会、糸島市食生活改善推進会、ボランティア団体「はつらつマイスターズ」「ひまわり」「はるか」(介護予防指導者の会)など、健康づくりに関する活動をしている団体、市内の事業者などと連携を図り、各種事業を推進します。

### (3) 行政区等との連携

各校区では、地域の活性化・発展を目指し、地域の資源や特性を生かしたまちづくり推進計画「共創プラン」が策定されています。現在、行政区とともに地域コミュニティとしての機能が活発化しており、校区、行政区などと連携しながら健康づくりを推進します。

### (4) 九州大学との連携

九州大学伊都キャンパスは、平成17年10月に開校し、平成31年に移転を完了する予定です。本市は、合併前の旧1市2町るときから連携を深めており、合併後も協定を結んで幅広い分野での連携体制を取っています。

健康づくり関係においても、新規事業の共同企画や研究事業の実施など、可能な限り連携を強化していきます。

### (5) 福岡市等との連携

平成23年10月、本市は福岡市と健康づくりに関して連携していくことになりました。今後、効果的な健康づくり事業の展開を図っていきます。

また、福岡市との連携をモデルケースとし、福岡都市圏等との連携も視野に入れながら事業の充実を図ります。

## 2 評価

### (1) 健康づくりアンケートの実施

市民の生活や健康に関する意識などの変化については、定期的に健康づくりアンケートを実施し、評価します。

### (2) 健康づくり関連データの把握

健康診査や保健指導など、市の事業を通じて健康づくりに関連するデータ(健康診査結果や保健指導による体重、血圧値の変化、重症疾病の罹患率など)を把握します。

### (3) データの経年比較による分析、評価の実施

健康づくりを推進することによって、市民の健康状態を示す指標(健康診査結果や医療費等の原因となった疾病内容など)は変化することがあるため、関係課が連携してデータを分析、評価します。

## 3 見直し

### (1) 国や県の制度等の現状把握

国・県との連携を密にし、社会情勢の変化や制度改正など、常に最新の情報把握に努めます。

### (2) 計画の見直し

定期的に計画の進捗状況を把握し、改善しながら事業を実施するとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。